

資料 2

補助教材の評価アンケート結果

(1) 都道府県職業能力開発協会を対象としたアンケート結果

a アンケート調査概要

- 調査期間：令和7年9月17日～11月28日
- 回答数：36件

b アンケート集計結果（数値データ）

● 回答者の担当（過去に担当していた場合も含む）

- ・ 講習の調整を担当している 14
- ・ 講習の実施・運営を担当している 11
- ・ その他 11

● 補助教材の活用状況

- ・ すでに活用している 7
- ・ すぐ活用したい 1
- ・ 将来的に活用したい 9
- ・ 検討中である 9
- ・ わからない 10

● 補助教材の活用形式（対面・オンライン）

- ・ すでに活用している
 - 対面形式 7
 - 双方向オンライン形式 0
- ・ 補助教材をすぐ活用したい、将来的に活用したい
 - 対面形式 8
 - 双方向オンライン形式 2

● 到達目標、内容、練習問題に対する評価

- 到達目標は受講者が学習する内容に沿っているか

	職業訓練 原理	教科指導 方法	安全衛生	訓練生 の心理	生活指導	職業能力開 発関係法規
思う	21	21	21	21	21	21
やや思う	15	14	15	14	15	15
あまり思わない	0	0	0	1	0	0
思わない	0	1	0	0	0	0

- 教材の内容は教科書のポイントを理解するのに役立つか

	職業訓練 原理	教科指導 方法	安全衛生	訓練生 の心理	生活指導	職業能力開 発関係法規
思う	22	22	22	22	22	22
やや思う	14	13	14	14	13	14
あまり思わない	0	0	0	0	1	0
思わない	0	1	0	0	0	0

- 練習問題は役に立つか

	職業訓練 原理	教科指導 方法	安全衛生	訓練生 の心理	生活指導	職業能力開 発関係法規
思う	20	20	20	20	20	20
やや思う	13	13	13	13	13	13
あまり思わない	3	3	3	3	3	3
思わない	0	0	0	0	0	0

● 構成や見やすさに対する評価

- 補助教材は教科書のポイントを指導しやすい構成になっているか

思う	20
やや思う	14
あまり思わない	2
思わない	0

- ・ 補助教材は受講者にとって見やすく作られているか

思う	22
やや思う	12
あまり思わない	1
思わない	1
- 補助教材がもたらす効果（課題解決につながるか）
 - ・ 新たな講師をお願いする際に依頼しやすくなるか

思う	23
やや思う	8
あまり思わない	2
思わない	3
 - ・ 準備の負担減になるか

思う	16
やや思う	15
あまり思わない	4
思わない	1
 - ・ 講習内容の引継ぎがしやすくなるか

思う	18
やや思う	12
あまり思わない	4
思わない	2
 - ・ 講習内容の均一化につながるか

思う	22
やや思う	11
あまり思わない	2
思わない	1

● オンラインの実施状況と課題

・ 48 時間講習のオンライン実施予定

考えていない	30
検討している	5
予定している	1
実施している	0

・ オンライン実施を考えていない理由（複数回答可）

※対象：オンライン実施を考えていないと回答した者（n=30）

通信環境が整っている会場確保が困難	17
オンライン用機器の整備が困難	9
実施方法がわからない	8
情報セキュリティへの不安	8
進められる人材がいない	7
動画教材などのコンテンツがない	7
実施が大変そう	6
オンラインへの抵抗感	5
その他	11

● その他（動画教材の活用意向）

・ 動画教材があれば活用したいか

思う	15
やや思う	11
あまり思わない	9
思わない	1

c アンケート自由回答（主な意見の要点）

● 補助教材を活用したいと思った理由

① 教材の構成・内容

- ・講師用と掲示用に分かれていて使いやすい。
- ・参考テキストに沿った高品質なスライドである。
- ・教え方の流れが講師用指導書に記載されている。
- ・イラストやチェック項目で視覚的に理解しやすい。
- ・要点がまとめられていて、わかりやすい。
- ・指定教科書に沿っているため使いやすい。
- ・テキスト改訂への対応が可能

② 講師側のメリット

- ・資料作成の負担軽減
- ・新任講師の準備が楽になる。
- ・初めて担当する講師も迷わない。
- ・講師依頼がしやすい。
- ・講習内容のイメージがしやすい。

③ 運営・効率化

- ・講習の均一化が図られる。
- ・講師変更時の対応がスムーズ
- ・オンライン対応（大雪など不測事態が起こった場合）を検討。その際の活用も検討が可能

④ 補助的役割

- ・講師の判断で柔軟に活用可能

● 補助教材の活用に慎重な理由

① 講習未実施・受講希望者不足

- ・近年、受講希望者がなく、48 時間講習自体が開催されていないため、教材活用の機会がない。

② 重複感あり

- ・ 補助教材は既存教科書と同内容で必要性なし。

③ 講師の独自教材使用・慣れ

- ・ 講師が長年使用している自作資料あるため。
- ・ 新教材導入で講習がやりにくくなる可能性があるため。
- ・ 教材選定は講師に一任している。

④ 教材未着・内容未把握

- ・ 教材が届いていない。
- ・ 講師も内容を把握していない。

⑤ 講師への確認・検討中

- ・ 講師の意見をまだ聞けていない。
- ・ 今年度講習で使用するか確認中
- ・ 講師と相談のうえ決定
- ・ 教材活用は講師判断に依存し、現時点では協議中

⑥ 今後の改訂や連携検討

- ・ 次回教科書改訂後に使用予定
- ・ 現行テキストとの連携方法が課題

● 到達目標に対する感想や改善点

① 現状肯定・評価

- ・ 指定教科書に則った形でよいと思う。
- ・ 教科書に沿った内容でわかりやすかった。
- ・ ポイントが明確でわかりやすい。

② 構成・提示方法

- ・ 到達目標を箇条書きかつシンプルに表記すると受講者にとって効果的
- ・ 目標数にバラつきがあるので3つ程度で示した方がよい。
- ・ 最低限必要ラインを示してほしい。

③ 見やすさ・デザイン

- ・イラスト等をもう少し入れてほしい。

④ 内容の充実

- ・内容が網羅されておらず、追記すべき点が多い。

⑤ 運用・進行面

- ・到達目標記載で受講者がプレッシャーを感じないか懸念
- ・行動変容を意識した目標設定は良い。

● 内容に対する具体的な改善点

① 肯定・現状維持

- ・よいと思う。
- ・アウトラインは捉えており、細部は各講師にゆだねられている。
- ・各教科のおおまかなポイントを学ぶ面では良い教材

② 図・イラスト・動画の活用

- ・動画や写真など視覚的にわかる教材があると集中力向上や理解が高まる。
- ・イメージ図や写真を増やすとより分かりやすくなる。

③ 具体例・事例の追加

- ・もう少し詳細な説明が必要な部分も多い。

④ 構成・わかりやすさ

- ・箇条書きではなく文章で書かれていた方がわかりやすい。
- ・ポイントにテキストの該当ページを記載していた方がわかりやすい。
- ・最後にまとめページがあるとより効果的

⑤ 教材形式・運用

- ・PDFではなくパワーポイント形式で講師が内容を追加できる仕様を希望
- ・投影用にパワーポイントデータがあるとありがたい。
- ・受講者配布用様式も欲しい。

⑥ その他個別指摘

- ・右下のページ数のフォントをもう少し大きくした方がよい。

● 練習問題に対する感想や改善点

① 必要性

- ・教科書に練習問題が付属しており、特に必要性を感じない。
- ・練習問題があることで確認テストに備えやすい。
- ・各教科の重要なポイントであり適切

② 教材と問題の統一性

- ・他の視点からの表現等があるとよい。
- ・教科書と同じ問題の方が使用しやすい。

③ 問題数

- ・もう少し問題数を増やしてもよい。

④ 難易度

- ・講習で活用され、受講者も積極的に解答していたので難易度は適切

⑤ 問題形式の多様化

- ・設問の聞き方を変えることで理解度確認ができる。
- ・○×形式は答えやすく良い。

⑥ 解答・解説

- ・答えが×の場合に正解の記載がある点は良い。
- ・誤り箇所が強調してあるとわかりやすい。

● オンラインの実施を考えていない理由（その他）

① 講習内容の特性

- ・オンラインで行いにくい内容が多いと思われるため。
- ・対面での実施の方が効果的だと思われるため。

② 検討不足・方針未確定

- ・現時点では、オンラインで実施するメリットとデメリットが十分に検討されているとは思えないため。
- ・受講資格審査や確認試験、不正防止対策など、オンライン化した場合の問題点について十分に検討する必要があるため。

③ 受講者側の環境課題

- ・受講者がオンライン講習に対応できる環境が整っているとは限らない。
- ・受講者の環境設定がまだ難しいと考える。

④ 運営・管理の難しさ

- ・出欠管理が難しい。
- ・受講しているかどうかの確認の取り方が不明

⑤ 技術的・負担面

- ・ビデオ通信アプリ等の負担も大きい。

⑥ 講師・会場の前提条件

- ・講習会場を技術校としており、講師も技術校の先生にお願いしている。
- ・講師をしているだけなので権限がない。

● 補助教材に対する要望やその他の意見

① 教材の評価

- ・講師の負担軽減や講習内容の均一化につながる（教材を使用した講師からも同様の意見があった。）。
- ・スライド準備や進め方の検討などの負担を軽減できる。
- ・講師用指導書は新任講師への指南書として有効
- ・補助教材により板書不要で講義がスムーズになる一方、扱うものが増えることで負担になるという意見もある。
- ・教材活用により講習内容の均一化が期待できる。

② 教材に対する要望

- ・パワーポイント形式で提供してほしい。
- ・指導書そのままのデータも欲しい。
- ・教材改訂時の更新・配布の仕組みを明確化

③ デジタル化・オンライン対応に対する要望

- ・オンライン教材（動画）を希望
- ・地方の講師不足対策として中央協会によるリモート開催などの検討を希望する。
- ・受講者側のオンライン環境整備が進まないため、現状では広範囲での活用が難しい。
- ・スクリーン投影のみの場合、後方席から見えない問題への対応が必要
- ・方向性は正しいが、標準化や設備面の課題を解決する必要あり。

④ その他 48 時間講習に対する意見

- ・確認テストの標準化を希望（練習問題と連動した問題）
- ・安定的に職業訓練指導員を養成していくために 48 時間講習を長期的に全国で運用できる仕組みが必要
- ・講師負担軽減と講習内容の均一化は必要

● 動画教材の活用意向とその理由

① 受講者の理解促進

- ・読むのと見るのでは理解度が異なる。
- ・事例や動画により受講者の理解が深まる。
- ・重要なポイントを押さえるという点で動画教材の使用は有効
- ・良い例と悪い例を動画により比較できると理解が深まる。
- ・講義の補足説明として、事例紹介の動画があると具体的にイメージがしやすくなる。
- ・言葉だけでは想像しにくい場面を補えると理解しやすくなる。

② 講義の活性化・集中力維持

- ・見える教材で講義が活性化する。
- ・長時間講習でメリハリを付けたい。
- ・文章と画像だけでは集中力が続かないので動画を入れられると良い。

③ 講師の負担軽減・均一化

- ・講師の教材選択肢が広がる。
- ・講師個人の経験に依存する内容が均一化できる。
- ・講師の準備などの負担がさらに軽減する。

④ オンライン対応

- ・オンライン環境では動画教材があると効果が高まる。

⑤ その他

- ・新しい講師に依頼する際のハードルを下げられる。
- ・材料は多い方がよいため。
- ・参考になるものがあれば活用したい。

(2) 48時間講習の講師を対象としたアンケート結果

a アンケート調査概要

- 調査期間：令和7年9月17日～11月28日
- 回答数：134件

b アンケート集計結果（数値データ）

● 回答者の属性 - 担当の講習科目（複数回答可）

・ 職業訓練原理	19
・ 教科指導方法	64
・ 安全衛生	17
・ 訓練生の心理	17
・ 生活指導	19
・ 職業能力開発関係法規	30

● 令和7年度の講習実施状況（アンケート調査時点）と補助教材の活用状況

・ すでに開催済みである	79
・ これから開催予定である	55

<すでに開催済みであると回答した者への設問>

・ どの程度補助教材を使用したか	
非常に頻繁に使用した	11
多くの場面で使用した	14
必要に応じて使用した	15
使用しなかった	39
・ 補助教材と経験談や事例などを組み合わせて展開できたか	
※対象：教材を使用した（非常に頻繁に・多くの場面で・必要に応じて）と回答した者（n=40）	
展開できた	13
まあまあ展開できた	22
どちらかといえば展開しにくかった	5
展開しにくかった	0

- ・ 補助教材を使用しなかった主な理由（複数回答可）
対象：教材を使用しなかったと回答した者（n=39）
- | | |
|-------------------------|----|
| 他の教材を使っていた | 25 |
| デジタル教材に慣れていない（教科書のみで十分） | 3 |
| 教材の内容が難しすぎた | 2 |
| 教材の内容が簡単すぎた | 1 |
| その他 | 18 |

<これから開催予定であると回答した者への設問>

- ・ どの程度補助教材を使用する予定か
- | | |
|-----------------|----|
| 非常に頻繁に使用する予定である | 3 |
| 多くの場面で使用する予定である | 8 |
| 必要に応じて使用する予定である | 28 |
| 使用する予定はない | 16 |
-
- ・ 補助教材を使用しない主な理由（複数回答可）
対象：教材を使用する予定はないと回答した者（n=16）
- | | |
|-------------------------|----|
| 他の教材を使っているから | 10 |
| デジタル教材に慣れていない（教科書のみで十分） | 4 |
| 教材の内容が難しすぎる | 0 |
| 教材の内容が簡単すぎる | 1 |
| その他 | 4 |

● 補助教材に対する評価

- ・ 補助教材は受講者にとって見やすく作られていると思うか
- | | |
|---------|----|
| 思う | 59 |
| やや思う | 62 |
| あまり思わない | 13 |
| 思わない | 0 |

● 補助教材がもたらす効果（課題解決につながるか）

・ 講習内容の引継ぎがしやすくなるか

思う	58
やや思う	60
あまり思わない	15
思わない	1

・ 準備の負担減になるか

思う	60
やや思う	55
あまり思わない	16
思わない	3

・ 講習内容の均一化につながるか

思う	74
やや思う	58
あまり思わない	1
思わない	1

c アンケート自由回答（主な意見の要点）

● 補助教材を活用したいと思った理由

〈すでに開催済みであると回答した者への設問〉

① 教材の構成

- ・要点がまとめられているのでおさえるべきポイントが分かりやすい。
- ・テキストに即した内容で重要箇所が分かりやすい。
- ・まとめ方が丁寧
- ・教科書の内容が見やすくまとめられている。
- ・ポイントが強調されている。
- ・指導ポイントが整理してあるため。
- ・教科書の重要なポイントがしっかりと示されている。
- ・法規の意義目的なども書かれており学びやすい。
- ・受講者が押さえるべきポイントも「Check」として明示されており、テキストと連動させやすい。
- ・各ページのポイントが簡潔にまとまっており説明の際の参考になった。
- ・テキストの内容を簡潔にまとめてあり、話の区切りや項目の説明がしやすかった。
- ・受講者が理解しやすい（わかりやすい構成）。
- ・視聴覚教材として詳細を説明するのに適切

② 講習の進行（教科書との連動性）

- ・教科書に沿った進行をやりやすかった。
- ・テキストと連動させやすくなっている。
- ・各項目を説明する際の導入に使用できた。
- ・内容がまとまっており説明しやすい（話の区切りや導入が容易）。
- ・要点の理由を説明するのにやりやすかった。
- ・進行状況を提示しながら講義を進められる。
- ・スクリーンに要点を提示できるところ。
- ・講習の流れが明確

③ 利便性

- ・ 单元ごとの練習問題が準備されていたこと。
- ・ 单元ごとに練習問題が資料についていることで、問題集を別に関かなくて済み負担が減った。

④ 準備負担の軽減（効率化・作業時間削減）

- ・ そのまま活用できる。
- ・ 準備時間の削減（資料作成不要）
- ・ 板書の手間が省けた。
- ・ デジタル教材により効果・効率的な講習の実施が図られる。
- ・ 業務が忙しく資料作成に時間を割けない中、目を通す程度で準備できる。
- ・ 短い時間で効率よく講習の準備を進めることができた。

⑤ 講習の質の均一化・標準化

- ・ 指導のブレ防止（均一化）
- ・ 講習内容を均一化できると考えるため。
- ・ 不測の事態で講師を急遽変更した場合の対応がスムーズ

⑥ 教材としての価値

- ・ 講習用教材は「総論」として幅広い知識を得るのに最適
- ・ 基本をしっかり固められる内容で積極活用に値する。

⑦ 講師の支援

- ・ 今回の 48 時間講習の担当が初めてで、講習実施の要領をつかむために活用した。
- ・ 教科指導の必要項目や指導ポイントが分かりやすくまとめられていた。

● 補助教材を使用しない主な理由（その他）

<すでに開催済みであると回答した者への設問>

① 自作教材の使用

- ・ 自分で作成したものを使用していた。
- ・ 自分で教科書に沿ったパワーポイントを作成した。
- ・ 既に用意しているデジタル教材を使用した。
- ・ 自身で作成していた資料があったため、そちらを中心に講義を行った。

② 教材の存在認知不足

- ・教材があることを知らなかった。
- ・存在を知らなかった。
- ・教材が届いていなかった。

③ 時間・準備不足

- ・教材の利用をしたかったが準備期間が取れなかった。
- ・時間の都合上教材を使う余裕がない（講習内容の予習には活用）。

④ 教材の適用困難・内容面

- ・教材による説明が難しいと感じたため。
- ・最新の情報を別紙で提示したため。

⑤ 部分的活用

- ・説明や資料内容での確認や補足事項の追記等には活用させてもらった。

● 補助教材を活用したいと思った理由

<これから開催予定であると回答した者への設問>

① 教材の構成

- ・指定教科書に沿ってポイントがまとめられている。
- ・分かりやすい。
- ・テキストで学ぶ内容が整理されている。
- ・テキストに準じて分かりやすくまとめられている。
- ・重点的に話す内容が簡潔に記載されている。
- ・テキストは情報量が多く、限られた時間で説明しきれないため、補助教材の要約が役に立つ。
- ・事例研究など一部科目でも、提示用として簡潔で使いやすい。
- ・講習で必要な説明ポイントが押さえられ、順序良く構成されている。
- ・ページ数が入力されていて確認しやすい。
- ・提示用資料として適している。

② 利便性

- ・練習問題があるので活用したい。
- ・単元ごとに練習問題がある。
- ・練習問題がクイズのように提示できて便利
- ・練習問題が役立つ。

③ 準備負担の軽減（効率化・作業時間削減）

- ・テキストだけだと準備負担が大きいですが、スライド化されていて助かる。
- ・進行が楽
- ・自作教材との過不足を補える。
- ・前年度までは自作していたが、今年は教材の一部を活用したい。

④ 講習の質の均一化・標準化

- ・標準化された教材を使うと、都道府県ごとの指導方法が標準化されると思い、活用したい。
- ・標準化されていて良いと思う。

⑤ 教材としての価値

- ・自作の教材と同じ考え方で作られていると感じた。
- ・20年以上の経験から見て、必要項目が網羅されている。
- ・自作教材のブラッシュアップ材料になる。
- ・自作のものより見やすい、容量が小さく扱いやすい。

⑥ 講師の支援

- ・今回初めて講師依頼があり、これから活用したい。
- ・紙テキストの補助として変化を持たせられるので効果が期待できる。

● 補助教材を使用しない主な理由（その他）

<これから開催予定であると回答した者への設問>

① 自作教材の使用

- ・テキストで伝えきれない部分、現場事例等を自作のパワーポイント資料で説明しているため。

② 時間・準備不足

- ・まだ十分に確認できていないため。

③ 教材の適用困難・内容面

- ・内容が薄すぎて専門的な知識を持っていない指導員には使い物にならない。
- ・黒板（ホワイトボード）に書きながら講習を行うため。

● 到達目標に対する感想や改善点

① 現状肯定・評価

- ・現状でよいと思う。
- ・きれいにまとまっている。
- ・次回以降の参考にしたい。
- ・わかりやすく来年から使用したい。
- ・最初に提示してあるので理解しやすい。
- ・受講者にとって目標が明確なので良い。
- ・「～をあげられる」といった具体的な書き方がよい。
- ・学ぶべきことが明確になる。
- ・今年から活用予定、現状で問題なし。
- ・受講者の受講意識に妥当
- ・到達目標の設定は適切
- ・要点を事前に画面表示でき助かる。

② 構成・提示方法

- ・最初に提示しても理解しづらい。
- ・冒頭で示すと忘れる。手元に置いておけると途中で見返すこともできる。
- ・目標が多すぎる。
- ・全体像を把握できるページが欲しい。

③ 見やすさ・デザイン

- ・文字が小さい。
- ・文字数が多く読みにくい。
- ・イラストや画像を入れる。
- ・アニメーション機能で動きをいれてほしい。

④ 内容の充実

- ・具体例が少ない。
- ・最新データのアップデート

⑤ 運用・進行面

- ・時間配分が難しい。
- ・全スライドを使うと時間オーバー
- ・講師の柔軟性を確保

● 内容に対する具体的な改善点

① 現状肯定・評価

- ・現状でよい。
- ・よくまとまっている。
- ・今のままでよい。
- ・教材自体はわかりやすくよい。

② 図・イラスト・動画の活用

- ・説明にあたり、図がついた例示資料があるとありがたい。
- ・車の運転などイメージしやすい例があると良い。
- ・さらに図が欲しい。
- ・図や表も教材に表示したほうが良い。
- ・文字よりもイラスト、写真などがあると良い。
- ・活字が多いので、イメージしやすい図や挿絵などがあると良い。
- ・関係法規にも写真や図を多く取り入れてほしい。
- ・もっと図解で示せる資料や関連動画があると良い。
- ・動画があると効果的
- ・動画を埋め込んでほしい。
- ・アニメーション機能や画像があると効果的
- ・パワーポイントのように進行に応じて文字や絵が出るような教材の方が良い。
- ・障害特性の説明などには補助動画教材が必要

③ 具体例・実例の追加

- ・代表的な現場の事例写真があれば分かりやすい。
- ・具体的事例（事故・有害な事例等）を追加すれば更に良い。
- ・能開校の実際、リスクアセスメントの実施例がほしい。
- ・障害者支援は特性をわかりやすく説明する動画が必要
- ・訓練生の心理は具体的なケーススタディがあると良い。
- ・○×問題だけより実技演習事例の方が記憶に残る。
- ・テキストにない事例等があると理解しやすい。

④ スライドとテキストの対比・構成の改善

- ・スライドとテキストを見比べながら聞いているため話が入らない。
- ・資料配布を希望
- ・テキストのどの部分か分かりにくい、対比が難しい。
- ・テキストと同じ図を入れてほしい。
- ・表・図を参照とあるが注釈がないと分かりにくい。
- ・目線の移動が多い。ひと目で見られる教材の方が良い。
- ・教科書を表示しながら注釈を入れられる教材だと理解しやすい。

⑤ フォーマットに関する要望

- ・PDFではなくパワーポイントにしてほしい。
- ・パワーポイントのように動きのある資料が良い。
- ・クリックでジョブカードの様式が開けると良い。
- ・スクロールよりクリックの方が機動性が良い。
- ・読み上げ音声があれば全国一斉講習が可能

⑤ 内容の深さ・わかりやすさ

- ・教材は薄い感がある。
- ・もう少し深い内容の要約がほしい。
- ・綺麗にまとめすぎて訴求点が分かりにくい。
- ・文字数が少ないことで講師の裁量に依存し個人差が出る。
- ・文章が長い教科書なので、補助教材はもっと図や具体例がほしい。
- ・内容が大括りで使いにくい、もっと細かくても良い。
- ・幹はあるので枝の部分の改善を改善してほしい。

⑥ データ・統計更新の必要性

- ・災害統計が古い（令和2年）。
- ・毎年変化する統計は試験問題にすべきでない。
- ・法改正があった場合、加除修正に対応してほしい。
- ・直近3年程度の統計があるとよい。

⑦ 用語・表記の正確性

- ・職業発達 → 職業的発達 に統一すべき。
- ・Parsons の綴りが間違い（Persons → Parsons）。
- ・適正診断 → 適性診断が適切

⑧ 講義運営上の課題・講師視点の意見

- ・1コマ2時間だとテキスト中心になりがち。
- ・生活指導分野はメリハリが少ないので補助教材が有効
- ・教材が薄いとテキスト読み中心になる。

● 練習問題に対する感想や改善点

① 必要性

- ・適切であった・良いと思う・適切だと思う（類似の意見多数）。
- ・受講者にとって確認問題があるのは良いと思う。
- ・演習問題は多いほうがよい。
- ・各節に練習問題があることで理解が深まる仕組みになっている。
- ・理解度を確認する上で良いと思う。
- ・各節ポイントを押さえており適当
- ・講義終了後の自主トレーニングとして活用している。
- ・練習問題は必要ないのではないのでしょうか。
- ・特にありませんが、教材中に練習問題は必要ないように感じる。
- ・時間がないので使用していない。
- ・今回は、時間がなく使わなかった。

② 教材と問題の統一性

- ・練習問題集と教材の問題が異なり混乱する。
- ・問題の文章が冊子と教材で異なる部分が多い。
- ・絶妙に教科書の文章と異なり混乱する可能性がある。
- ・教科書の練習問題と同じ問題がよい。
- ・テキストに添付の問題と同じものには番号を付けてほしい。

③ 問題数・難易度

- ・適切であった・問題ない（類似の意見多数）。
- ・演習問題は多い方がよい。
- ・問題数はもう少しあってもよい。
- ・各節で少なくとも3問は欲しい。
- ・設問をもう少し多くしてほしい（時間調整に利用）。
- ・生活指導の問題数を増やしてほしい。
- ・例題を増やしてほしい。
- ・難易度についてはやや易しいと思った。

④ 問題形式の多様化

- ・○×だけでなく、五択問題にする。
- ・穴埋め・三択・記述など変化があるとよい。
- ・本番試験が二択なので、筆記形式（記述）でも良いのでは。
- ・○×形式ではなく、受講者の持論を引き出す質問が望ましい。

⑤ 解答・解説の改善

- ・×の場合の解説をより詳しくしてほしい。
- ・×解説の色味が良くない・読みにくい。
- ・アニメーションや段階表示で説明したい（クリックで解答が出る形式）。

⑥ 運用・利便性

- ・教材が印刷できず不便
- ・栞（ブックマーク）がなく不便
- ・解答に対する教科書の根拠箇所が示されていると説明しやすい。

⑦ 問題の妥当性に関する指摘

- ・森を見ず木を見るような問いがある（必要性等の観点から外れた問い）。
- ・到達目標に合った問題でよいが、問題形式に変化があるとさらによい。
- ・試験問題に近い内容があり、答えを教える型にならないか懸念

● 補助教材に対する要望・その他意見

① 教材の評価

- ・提供はありがたいという肯定的意見も多数
- ・まとめられていて非常に参考になる。
- ・要点が押さえられており準備・実施の両面で役立つ。
- ・全国共通教材の存在は標準化にもつながるとも良い取り組みである。
- ・プロジェクター使用が主流のため教材提供はありがたい。
- ・本教材のおかげで講義を乗り切れた、助かった。
- ・継続的な改良を期待する。
- ・教材の普及を期待している。

② 教材形式・データ形式に関する要望

- ・PDFではなくパワーポイント形式で提供してほしい。
- ・文字に効果を付けたり、独自のメモを追記したい。
- ・既存資料と融合させたい。／自分用に編集したい。
- ・既に作成済み資料を使っていたため使いにくかった。
- ・配布できるよう印刷不可設定を解除してほしい。

③ 教科書との整合性

- ・教科書と表現が異なると説明が難しい。 → 基本は教科書と合わせてほしい。
- ・教科書改訂ごとに更新してほしい。

④ 動画教材・オンライン化への強い要望

- ・オンデマンド動画で講義を受けられるようにしてほしい。
- ・短い動画教材や演習用動画を増やしてほしい。
- ・サブスク形式で教材提供 → 講師負担軽減
- ・オンライン化が進めば講師側の課題は解消される。
- ・動画教材があれば積極的に使いたい。

⑤ 視認性・ビジュアルの改善要望

- ・スクリーンに映すと 字が小さく見づらい。
- ・もっと 視覚に訴える教材にしてほしい。
- ・本の内容をそのまま抜くのでは意味がない。
- ・統計資料はグラフや解説がないと分かりづらい。

⑥ 講師の負担軽減・準備のしやすさに関する意見

- ・若い講師から「負担が減った」「このまま使える」と高評価
- ・全国的に講義を均一化でき、質向上につながる。
- ・統一した教材があると、属人的な知識を補える。
- ・使用前の学習機会がほしい（教材を使いこなしたい。）。

⑦ 内容の方向性に関する意見

- ・経験談・エピソードを講義に盛り込むと厚みが出る。
- ・受講者に理解しやすい例・事例をもっと入れてほしい。
- ・練習問題の 数量と解説を増やしてほしい。
- ・事例研究の教材も整備してほしい。
- ・事例研究の実施方法・テーマ選択に悩むため、各県の実施例を共有してほしい。

⑧ その他 48 時間講習に対する意見

- ・教科編成指導要領が現場でほぼ使われていない。
- ・実務に合わない記述があるため、現状に合わせて改訂してほしい。
- ・確認テストの厳格化・全国统一化を希望

